



立川ひろとしの議会報告

平成25年10月10日
後援会報 52号
発行：立川ひろとし後援会



祝！2020年 東京オリンピック！その一方で…

皆様には、日ごろから立川ひろとしの活動に対し、ご理解とご支援を頂きまして有難うございます。

先程、2020年のオリンピック・パラリンピック会場に東京が決定し、久しぶりの明るいニュースに日本中が沸いたことは記憶に新しいところです。

しかしながら、その誘致活動の中で、福島第一原子力発電所の事故に伴う汚染水処理に関する認識において、政府の認識と私たち国民の認識に大きな差異が出てきていることも感じておるところです。

「安全」をうたえても、事態の収束を現実のものとしなければ、参加国の選手が安心して来てくれないという事態になるかもしれません。

国際社会に明言したことを、私たち国民に対しても現実のものとしてほしい、1日も早い事態の収束を心から願っております。

9月定例会のポイントは？

毎年9月議会では、決算特別委員会が設置され、前年度の一般会計、特別会計、水道事業会計の審査が行われました。

- ① 平成24年度 一般会計・特別会計・水道事業会計の審査
- ② 結城市一般会計・特別会計 補正予算
- ③ 町の区域の変更について
- ④ 結城市公平委員会の委員の選任について
- ⑤ 請願審査・意見書審査について

郵送・駅での配布・ポスティングなど様々な方法で配布しております。同じものが届きましたらご容赦願います。



■ 平成24年度の決算 及び 財務諸表

① 各決算の内容

会 計 名		歳入(千円)	歳出(千円)	収支(千円)
一般会計		17,430,533	16,217,674	1,212,859
特 別 会 計	国民健康保険	6,279,888	5,993,831	286,057
	後期高齢者医療	401,156	400,141	1,015
	介護 保険	介護保険事業	2,719,388	23,455
		介護サービス事業	12,111	1,982
	公共用地先行取得事業	13,830	13,830	0
	区画整理・南部第二	419,907	417,907	2,000
	区画整理・南部第三	184,246	180,021	4,225
	区画整理・南部第四	209,312	208,812	500
	公共下水道	1,391,544	1,388,544	3,000
	農業集落排水	91,918	91,917	1
水道事業	住宅資金等貸付	5,428	5,427	1
	収益的収支	1,066,161	1,024,110	42,051
	資本的収支	219,144	499,662	▲280,518

※1 各数値は平成24年度 結城市決算審査意見書より抜粋

※2 水道事業会計の資本的収支は、拡張事業、石綿セメント管 更新事業、企業債返還など必要性の高い事業を実施するため歳入に比べて歳出が大きくなっており、その不足を内部留保資金より補填している

② 各種財務諸表（※（）内は、黒字比率をマイナスとして算出したもの）

項 目 名	国の基準（％）		平成24年度 結城市（％）	平成23年度 結城市（％）
	経営健全化基準	財政再生基準		
実質赤字比率	13.26	20.00	－（-10.20）	－（-7.65）
連結実質赤字比率	18.26	35.00	－（-25.96）	－（-22.02）
実質公債費比率	25.0	35.0	12.8	13.8
将来負担比率	350.0	－	75.3	84.7

■ 一般会計・特別会計の補正予算

① 一般会計・特別会計 7 本の 8 会計で総額 3 億 5816 万 6000 円の補正予算を決定

② 主な補正内容は以下の通り

・市庁舎建設検討市民アンケート調査委託料	120.0 万円
・税外収入過年度清算還付 （前年度の国庫補助・交付金・県補助金の清算分の返還が主）	2132.9 万円
・定期巡回・随時対応型訪問介護看護設備整備 補助	826.7 万円
・障害児支援 放課後 等 デイサービス費	2360.8 万円
・不適正処理産業廃棄物撤去費用負担 （県の行政代執行により結城市内に不法投棄された硫酸ピッチを） （撤去処分するにあたっての市負担金）	347.5 万円
・市道整備事業（道路改良工事 等）	1465.1 万円
・水野家墓所外柵工事	200.0 万円
・鹿窪運動公園 野球場スコアボード操作機改修	600.0 万円
・国民健康保険 支払準備基金への積み立て	4761.4 万円
・国民健康保険 過年度清算還付経費	8855.8 万円
・介護保険 給付費準備基金への積み立て	1211.9 万円
・介護保険 過年度清算還付経費	1010.0 万円
・下水道浄化センター 施設維持修繕経費	900.0 万円

③ 北部区画整理事業 3 組合の借入金 元金返済を助成するために、平成 26 年～29 年の期間で下記の債務負担行為（※）を設定

組合が借入を行っている金融機関と市の交渉により、借入金の元金の返済をすすめることを条件に金融機関が利率引き下げに応じてくれることとなったことから、市が借入金返済助成を行う債務負担行為を設定

・富士見町 土地区画整理組合 借入金返済補助 助成	1 億 6188 万 4000 円
・逆井 土地区画整理組合 借入金返済補助 助成	6 億 8997 万 8000 円
・四ッ京 土地区画整理組合 借入金返済補助 助成	4872 万円

■ 町の区域の変更について

- ・結城第一工業団地 矢畑地区 土地区画整理事業により完成した街区と道路を新しい町名「新矢畑」と設定することが決定

■ 結城市公平委員会の委員の選任について

- ・結城市公平委員会の委員に下記の方を選任することに同意
斎藤暁（さいとうさとし）さん 【大字結城】（任期満了に伴う再任）

■ 請願審査・意見書審査について

- ・「国益に反する T P P に参加しないことを求める請願」が採択され、政府関係機関に意見書を提出することが決定
- ・総務委員会より提案された「地方税財源の充実確保を求める意見書」が議決され、政府関係機関に提出することが決定

■ 木村教育長が退任

- ・4 年半 結城市教育委員会 教育長として活躍された木村裕さん【山川】が任期満了に伴い退任。結城市の教育行政に対する長きにわたるご尽力有難うございました。

※ 債務負担行為 とは…

予算は単一年度で完結するのが原則ですが、大きな事業を行う際や複数年にわたる委託契約を行う場合など、例外として将来にわたる支払義務に対応するため、あらかじめ後年度の債務を約束することを「債務負担行為」と言います。地方自治法では、債務負担行為は予算の一部として定めなければならないこととされています。

ただし、債務負担行為の設定により全額が即座に予算化されるわけではなく、設定された期間内において実際に支出する際に、予算計上をおこない、議会の議決を経ることにより支出されます。

特別会計は一般会計からの繰り入れで黒字を維持？！

（１）現状分析

以下の表は、結城市の特別会計の収支額と、一般会計からそれぞれの特別会計に繰り入れている金額を示した表です（単位は千円）

		収支額 (A)	一般会計からの 繰り入れ(B)	実質の収支 (A)-(B)
国民健康保険		286, 057	349, 236	▲ 63, 179
後期高齢者医療		1, 015	101, 339	▲ 100, 324
介護 保険	介護保険事業	23, 455	434, 856	▲ 411, 401
	介護サービス事業	1, 982	0	1, 982
公共用地先行取得		0	13, 830	▲ 13, 830
南部区画整理・第 2		2, 000	185, 975	▲ 183, 957
南部区画整理・第 3		4, 225	50, 066	▲ 45, 841
南部区画整理・第 4		500	191, 881	▲ 191, 381
公共下水道		3, 000	513, 117	▲ 510, 117
農業集落排水		1	35, 889	▲ 35, 888
住宅資金等貸付		1	1, 928	▲ 1, 927
合 計		322, 236	1, 878, 117	▲1, 555, 881

（上記の数値は平成24年度 結城市決算審査意見書 より）

表からもわかるように、ほとんどの特別会計において、一般会計からの繰り入れがないと単独黒字とはならない状況です。

本来、特別会計は、広く一般の市民のみなさんが受益者（対象者）となる事業とは異なり、特定の地域や受益者が恩恵を受ける事業を特別枠で実施し、その収支はその受益者の中で完結すべきものでありますが、実際には難しい状況にあり、この傾向はここ数年変わらない状況です。

この状況を逆の視点から分かりやすく言うと「サービスを受けてない地域の人や、サービスの対象外の方も、サービス維持のための負担をしている状況」ということになります。

（２）どこが課題？

- ① この自治体でも、国民健康保険や介護保険においては給付費の増大が話題になっておりますが、保険税の未収も大きな問題です。

結城市においても国民健康保険税 約 8.4億円が収入未済（未回収）となっており、今年度も約 7700万円の不能欠損処理（※）をしています。

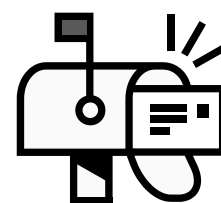
これも不況により保険税の支払いが困難な方が多い一方で、その方が医療機関にかかれなくなってしまうことに繋がることから、支払い負担の少しでも軽減にと、分納回数を増やすなどの施策がとられてきましたが、なかなか回収向上には至りません。

- ② 区画整理事業においては、長引く不況により保留地の販売がむずかしく、また、地価下落にあわせて価格の引き下げも行っていることから事業開始当初見込みの収益を下回ることは必至であり、その分の補てんをしなければならない状況にあると思います。早期の事業改修をはかり、定住化による人口増、固定資産税などによる別の形での市勢向上を念頭に置くべきと考えます。

※ 不能欠損とは…

徴収額を調定（徴収額を決める行為）したものの何らかの理由で徴収が行えず、今後も徴収の見込みがたたないため、地方自治体がその徴収を諦めること。

皆様のお知り合い・ご友人をご紹介ください！



ひろく多くの方々に本誌をご覧頂きたいとの思いで、議会終了ごとに発行している本誌（正式版）にあわせて、本誌の内容をB4・1枚に凝縮したダイジェスト版を作成し、市内各地を自転車で回りながらポスティングを行っています。定期的に郵送でお届けしている方のお宅にポスティングしていることもあるかと思いますが、ご容赦ください！

また、皆様のお知り合い・ご友人の方々に、本誌に興味のある方がおられましたら、ご紹介を頂けます様よろしくお願いします。次号から郵送させていただきます。

～コラム～ 区画整理事業への助成に関する一考察

2ページにも掲載しましたが、今回の補正予算審議の中で、北部区画整理3組合の借入金返済補助 約 8.8 億円の助成をこれから4カ年にわたっておこなう債務負担行為が議決されました。

結城市は3組合に対し総額 41.5 億円の債務保証を議決していますが、3組合の借入総額が補償額いっぱい近づいていること、昨今の不況で保留地の販売がなかなか難しく事業費捻出が厳しいことから厳しい局面を迎えているなかで、民間施工であるものの公共性が高いとの観点で、市施工の南部区画整理事業と同様に国の補助金を活用しながら継続して事業支援を行っております。今回、市が金融機関と交渉を進めた結果、元金返済の道筋をつけることを条件に借入金の利率引き下げが実現できることとなり、市による借入金助成を行うための債務負担行為 設定を含む補正予算を決定しました。

県内のとある市町村では、市が損失補償をしている区画整理組合に対し、金融機関が損失発生と判断し、市に損失補償の実施をせまる事態に発展し、最終的に市が一括返済を行った事例があります。今回議決した約 8.8 億円の助成は結城市にとって決して小さな額ではありませんが、将来、結城市にとって負担増となるやもしれない芽を早期に摘んでおこうという考え方を優先して、議案に賛成しました。

しかしながら、今の市の都市整備は結城市の国道50号以北に多額の資本が投入され、地域整備のバランスを欠いてしまっているのは否めない状況です。

今回の債務負担行為により軽減できた、あるいはできるであろうお金については、他の地域、特に結城南部地域の住環境整備に回すなど、少しでもバランスを戻すことを考えてほしいと思いますし、一刻も早く区画整理事業終結の目途をつけ、結城市市全体にバランスよく行きとどく予算編成を実現してほしいと思っています。

インターネットでの活動報告もぜひご覧ください！！

HomePage <http://www.tacho-net.com/tacho/>

Blog <http://tacho.blog52.fc2.com/>



<http://www.facebook.com/Hirotoshi.Tachikawa>



http://twitter.com/Tachikawa_Hiro

上記の FaceBoook、Twitter の私のページは、利用登録をしなくてもどなたでもご覧いただけます。そちらも是非ご覧ください！

平成25年 結城市議会 第4回 定例会日程（案）のお知らせ

12/10（火）	本会議（開会）	12/16（月）	総務委員会
12/11（水）	一般質問	12/17（火）	産業・建設委員会
12/12（木）	一般質問	12/18（水）	教育・福祉委員会
		12/20（金）	本会議（閉会）

※ あくまでも案ですので、変更となる場合もあります

編集後記

いつも本誌をご愛読頂きありがとうございます。

今回は一般質問をお休みし、紙面にスペースができたことから、一般会計と特別会計における繰り出しについて数値を掲載し、解説をしてみました。

受益者負担のバランスの問題を根本から解決しなければならない部分もある一方で、市全体で支えていかねばならない問題もあり、改善は一筋縄ではいかないと思いますが、日々、改善点を見つけ、提言を続けていきたいと思っています。

